

- 問1 2016年における主要国の輸出統計の説明として、日本の輸出相手国の特徴とアメリカ合衆国の動向を組み合わせたものとして最も適切な説明文を選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国であり、そのアメリカ合衆国自身にとっての最大の輸出相手国は隣接するカナダである。
 2. 日本の最大の輸出相手国は中国であり、世界最大の輸出総額を誇る中国にとっても、日本が最大の輸出相手国となっている。
 3. ドイツはEU域内での貿易が盛んなため世界第2位の輸出総額を誇り、日本やアメリカ合衆国にとって最大の輸出相手国となっている。
 4. アメリカ合衆国は世界最大の輸出総額を誇る国であり、日本にとって最大の輸出相手国であるとともに、ドイツを最大の輸出相手国としている。
- 問2 北アメリカ大陸を南北に貫き、カナダ、アメリカ合衆国の中央部、そしてメキシコの東部を通る経線があります。この経線は、北アメリカ州の自然環境や人々の暮らしを理解する上で重要な指標となりますが、その名称として正しいものを選んでください。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 東経100度
 2. 東経40度
 3. 西経100度
 4. 西経40度
- 問3 アメリカ合衆国では、広大な国土の地形や気候などの自然環境に合わせて、その土地に最も適した農作物を集中的に栽培する農業が行われています。このような、生産効率を追求したアメリカ特有の農業方式を何と呼びますか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 適地適作
 2. 焼畑農業
 3. 近郊農業
 4. 自給的農業
- 問4 アメリカ合衆国のピッツバーグが、世界有数の鉄鋼業の街として発展した地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. メキシコ湾沿岸で産出される石油と天然ガスを主な原料とし、パイプライン網が整備されていたから。
 2. 安価な労働力が豊富に得られるメキシコとの国境付近に位置し、輸出拠点として有利だったから
 3. 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。
 4. 西部の山岳地帯で産出される金鉱や銀鉱の加工拠点として、内陸鉄道網が集中していたから。
- 問5 北アメリカ大陸の地形について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。北アメリカ西部に位置し、環太平洋造山帯の一部をなす険しい山脈と、その東側に広がる地形の關係に着目して選んでください。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 大陸の西側にロッキー山脈があり、その東側にグレートプレーンズやプレーリーなどの広大な平原・草原が広がっている。
 2. 大陸の中央部にアンデス山脈があり、その周辺に世界最大の熱帯雨林が広がっている。
 3. 大陸の東側にロッキー山脈があり、その西側に沿岸部の険しい山地が続いている。
 4. 大陸の西側にアパラチア山脈があり、その東側に放牧に適した乾燥した草原が広がっている。
- 問6 アメリカ合衆国の経済・社会指標の特徴について、地理的条件や産業の背景を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な国土全域に人口が密集しているため人口密度が極めて高く、それが巨大な国内市場を形成して国民総所得を押し上げている。
 2. 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。
 3. 1人あたりの国民総所得は世界最高水準であるが、省資源化が進んでいるため、年間の総発電量は日本の約半分程度に抑えられている。
 4. 工業化が遅れているため、発電量はインドやエジプトなどの新興国を下回っているが、1人あたりの国民総所得だけが突出して高い。
- 問7 世界全体の統計において、人口の割合が約7.9%であるのに対し、二酸化炭素の排出割合が約20.1%を占めている州があります。この州は、南北に長い大陸の形状をしています。該当する名称として正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 北アメリカ州
 2. オセアニア州
 3. アジア州
 4. 南アメリカ州
- 問8 メキシコの貿易構造と、その背景にある地理的・経済的な關係について述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 輸入において中国や日本、韓国などのアジア諸国が合計額でアメリカ合衆国を上回っており、アジアへの依存を強めている。
 2. 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米の中南米とも活発に取引を行っている。
 3. 中南米諸国との貿易を最優先しており、コロンビアやブラジルとの取引額が、アメリカ合衆国やカナダを上回っている。
 4. 輸出先はアメリカ合衆国に集中しているが、輸入先はドイツを中心としたヨーロッパ連合（EU）諸国が過半数を占めている。
- 問9 アメリカ合衆国の都市の立地と交通網の発展について述べた文として、歴史的・地理的な背景をふまえた最も適切なものを選びなさい。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 主要都市の多くは河川の河口付近に位置しており、物資の輸送に便利な鉄道などの交通網が発達して経済を支えた。
 2. 1776年の建国当初から西海岸に主要都市が集中していたため、東部へ向けて鉄道を敷設することで領土を拡大した。
 3. 内陸部の山岳地帯を中心に主要都市が形成され、海岸部とは航空路のみで結ばれる特殊な交通体系が発達した。
 4. 河川の氾濫を防ぐためにすべての主要都市は内陸の高原に建設され、水上交通ではなく道路網が発展の起点となった。
- 問10 北アメリカ州の自然環境について述べた文として、地理的な特徴を正しく説明しているものを次の中から選んでください。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 大陸の南部には、世界最大の流域面積を誇る大河が流れており、熱帯雨林を形成している
 2. 世界で最も面積が大きい大陸であり、北から南まで全ての気候帯が揃っている
 3. 大陸は東側でインド洋に、西側で大西洋に面しており、海上交通の要所となっている
 4. 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキー山脈がそびえている
- 問11 北アメリカ州において、一人あたりの二酸化炭素排出量が他の州と比較して非常に高くなっている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 自動車社会の発達や工業化が進み、一人あたりのエネルギー消費量が大きいため
 2. 主要な発電方式がすべて原子力であり、温室効果ガスの制御ができていないため
 3. 森林が急速に減少しており、二酸化炭素の吸収が全く行われていないため
 4. 人口密度が世界で最も高く、狭い地域での生活排出量が集中しているため
- 問12 アメリカ合衆国の太平洋側に位置するサンフランシスコ郊外には、大学や研究機関が数多く集まり、インターネット関連の技術開発が盛んな地域があります。世界的な情報技術産業の拠点となっているこの地域の名称を次の中から選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. ニューオーリンズ
 2. ヒューストン
 3. シリコンバレー
 4. デトロイト

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国であり、そのアメリカ合衆国自身にとっての最大の輸出相手国は隣接するカナダである。	2016年の統計資料に基づくと、日本の輸出において最も大きな割合（約20.2%）を占めるのはアメリカ合衆国です。一方、アメリカ合衆国の輸出先を見ると、地理的な近接性からカナダが約18.3%で第1位となっています。なお、輸出総額の世界1位は中国であり、アメリカ合衆国は第2位、ドイツは第3位という順位になっています。
問2	答え 3 西経100度	北アメリカ州の年間降水量を描いた地図において、カナダからアメリカ中央部、メキシコへと伸びるこの経線は、気候の境界線として機能しています。この線を境に東側は比較的雨が多く、西側は乾燥する傾向があるため、農業の分布などを考える際の重要な基準となります。
問3	答え 1 適地適作	アメリカ合衆国では、五大湖南側の比較的冷涼な地域での酪農や、中央平原でのトウモロコシ栽培など、自然条件を最大限に活用して特定の農産物を大規模に生産しています。これにより、広大な土地で高い生産性を実現しています。
問4	答え 3 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。	ピッツバーグは、アパラチア炭田の石炭や五大湖周辺の鉄鉱石という、鉄鋼生産に不可欠な資源の産地が近接していました。これに加え、五大湖や河川などの水上交通を利用して重量物である原料を効率よく運搬できたことが、巨大な工業地帯へと成長する要因となりました。
問5	答え 1 大陸の西側にロッキー山脈があり、その東側にグレートプレーンズやプレーリーなどの広大な平原・草原が広がっている。	北アメリカ大陸の西部には、新期造山帯に属する高く険しいロッキー山脈が南北に走っています。この山脈の東側には、比較的乾燥しており放牧が盛んなグレートプレーンズや、やや湿潤で小麦の栽培などが盛んなプレーリーといった広大な平原・草原地帯が続いています。東部にあるのは古期造山帯のなだらかなアパラチア山脈、南アメリカ大陸にあるのはアンデス山脈です。
問6	答え 2 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。	アメリカ合衆国は高度に工業化された世界最大の経済大国であり、国民の豊かな生活水準を示す「1人あたりの国民総所得」や、産業・家庭での膨大なエネルギー消費を示す「発電量」において、世界でも際立って大きな数値を示します。一方で、日本の約25倍という広大な国土面積を持つため、総人口は多いものの、単位面積あたりの人口を示す「人口密度」は、日本などの島国と比較すると低い値（約36人/km ² ）になるのが地理的な特徴です。
問7	答え 4 南アメリカ州	南北に長い大陸の形状を持つ南アメリカ州は、世界の総人口に占める割合が約7.9%である一方で、二酸化炭素の排出割合が約20.1%に達しています。このように人口比に対して二酸化炭素の排出割合が高い数値を示す背景には、工業化の進展や資源開発、森林破壊などの環境変化が関わっています。入試では統計数値と大陸の形状を組み合わせて州を特定させる問題が頻出です。
問8	答え 2 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米のコロンビアとも活発に取引を行っている。	メキシコは北アメリカ大陸に位置し、アメリカ合衆国と密接な経済関係を築いています。輸出相手国としてはアメリカが圧倒的で、次いで同じ北米のカナダや、文化的な共通点も多い中南米のコロンビアが主要な相手となります。輸入においてもアメリカが1位ですが、日本や中国といった製造業の盛んな国々からも工業製品などを輸入しています。
問9	答え 1 主要都市の多くは河川の河口付近に位置しており、物資の輸送に便利な鉄道などの交通網が発達して経済を支えた。	アメリカ合衆国の多くの主要都市は、水上交通の利便性が高い河口付近に発展しました。建国以来、東部から西部への開拓が進むにつれて、これらの都市を結ぶ鉄道網などが整備され、広大な国土における政治・経済・文化の結びつきを強める役割を果たしました。
問10	答え 4 大陸の中央部にはグレートプレーンズと呼ばれる広大な平原があり、その西側にはロッキー山脈がそびえている	北アメリカ州を概観すると、太平洋に面した西側にロッキー山脈が走り、その東側にグレートプレーンズやプレーリーといった広大な平野・平原が広がっています。大西洋には面していませんが、インド洋には面していません。面積が最大の大陸はユーラシア大陸であり、世界最大の流域面積を持つ河川（アマゾン川）や広大な熱帯雨林（セルバ）は南アメリカ大陸の特徴です。
問11	答え 1 自動車社会の発達や工業化が進み、一人あたりのエネルギー消費量が大きいため	北アメリカ州では、モータリゼーション（自動車の普及）の発達や高度な産業活動により化石燃料が大量に消費されています。その結果、一人あたりのエネルギー消費量が大きくなり、一人あたりの二酸化炭素排出量も高くなっています。
問12	答え 3 シリコンバレー	サンフランシスコ近郊のシリコンバレーは、スタンフォード大学などの有力な教育研究機関が隣接しているため、優秀な人材や最新の技術が集まりやすい環境にあります。これにより、インターネットに関連したソフトウェアや半導体などの情報技術産業（ICT）が飛躍的に発展しました。